

天王祭

7月14日 加富神社にて

毎年、山田町の永年受け継いでいる行事です。

最近は数日前に山田町慶寿会の皆さんで境内の草刈、掃除を行い、当日、宮世話の方々でのぼり立て、茅の輪の作成、子供会の皆さんで灯籠作りと、消防団をはじめ各団体の協力でこの祭りを作り上げます。

子供会行事



夏越の祓い神事、



諏訪太鼓、江州音頭の踊りの奉納行事、



形代おたきあげ、福引き



と進みます。以前は野上がりで農作業も一段落し、若者のレクリエーション的に江州音頭を踊り、音頭取りと踊り子の掛け合いを夜遅くまで楽しんでいました。

なごし はら
(夏越の祓い神事) →加富神社からの案内文より

私たちは古くから清浄なことを重んじ、清明な心で日々生活に励むことを心がけています。ところが私たちの日常生活においては知らず知らずのうちに不浄に触れ、過ちを犯すことが多々あり、清浄であるべき心はさまざまな罪、咎、穢れによって汚れ濁ってしまいます。そのような罪や穢れなどを神様のお力によって祓い清めていただくため、一年を上半期と下半期に分け、半年の間に心身についたり、家や屋敷などにさわったりしている汚れを祓い清め、清しい心や姿になって次の半年の生活がよりよいものとなるようお祈りします。これから迎える厳しい夏を無事過ごし、下半期のあらゆる難事を乗り越えることができるよう祈願する神事を『夏越の祓い』と申します。夏越の祓いには紙で人形を作り、自己の身代わりの形代に願い事を書き、息を吹きかけ自分の罪や穢れを移し、神社に参拝して茅の輪をくぐり、神前に形代を納めて祈りを捧げます。このお祓いを受けると心身についている罪や穢れが消滅し、身に降りかかる一切の魔が祓い清められ、健康で開運隆盛の喜びに出会うことができると古来から信じられています。多くの神社では上半期は6月30日に、下半期は12月31日に行われていますが、加富神社では天王祭の7月14日に執り行わせていただきます。

茅の輪をくぐりには、神歌「みな月のなごしの祓えする人は、千歳の命、のぶといふなり」ととなえながら行います。

家族の無病息災と発展を祈願した天王祭を多くの皆様方と楽しく過ごさせていただきました。

矢田 義秀